

**** PCA公益会計ソフト連動 ****
「支払調書ソフト・調書エース」のご提案

株式会社 ネットワーク
2003年 7月



支払調書ソフトの導入メリット(こんなに便利！！)

日々の謝金の記帳・手作業集計の省略化

従来手書きや表計算ソフトなどで別に記録していた謝金記録が公益会計ソフトの仕訳伝票から自動で作成されかつ集計されます。

これにより謝金記録を書く手間が省け、その上集計する手間も省力化できます。

仕訳伝票の入力のみで年末の支払調書を自動作成

日々の公益会計の仕訳伝票入力だけで、12月の支払調書を自動発行致します。仕訳伝票の入力のみですので、よけいな手間は一切かかりません。

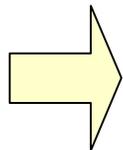
間違いの発見・区分の税率の変更が自由自在

自動で抽出した謝金の仕訳データはチェックリストでいつでも確認・照合ができ、集計結果も随時画面・プリンタで出力・確認できますので、入力間違いがすぐ発見できます。

また、区分の税率やマスター変更も随時可能です。

導入は随時OK！謝金の仕訳にコード入力するのみ

1月からの謝金の仕訳伝票にキーコードを追加で入力するだけですので、導入はいつからでもOKです。特別な準備は必要ありません！



今日からでも導入OK。支払調書がすぐ自動作成できます。

< 現状の調書作成処理の問題点とソフト導入後の状況 >

現状の調書作成処理の問題点

✓ **各人の謝金記録・手集計が面倒**
手書きで記帳し集計間違いも頻発

✓ **毎回のチェック・照合が面倒**
個人別の照合・チェックが大変
会計データとの突合も間違いが頻発

✓ **支払調書の発行処理が大変**
多人数の調書発行に大変な手間がかかる
計算ミスによる再発行処理も大変

✓ **処理コストが結構かかる**
時間コスト・手間コストがばかにならない

調書エース導入後

会計の伝票入力のみで
調書を自動集計・作成

仕訳データ読込後チェック
リストで随時照合・確認OK

随時編集・発行が可能
再処理はいつでもOK

1年 3万円 (5年利用時)
割賦で月3,100円 / 税込

* * 支払調書ソフト“調書エース”の特長

●メニューはマスター登録と調書作成のみ

*** 見やすい画面と簡単な操作性のメニュー設計**

マスターデータ登録メニュー

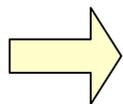
導入のマスター登録は区分と支払先のみですので、導入処理に全く時間がかかりません。
また見やすい入力画面となっており、税率の訂正も随時可能です。

入力データチェックリスト・確認が万全

公益会計の謝金の仕訳を自動抽出した後チェックリストで随時チェックができます。
チェックリストは支払リスト形式・伝票形式の2パターンでチェックでき、未登録コードの伝票はエラーリストで出力しますので間違い探しが容易です。

支払調書の編集・作成も随時可能

集計した支払調書は個人別に画面確認・編集が可能ですので、発行前に必要に応じて
摘要欄の入力・細目の訂正等が自由に行えます。
また、1年度9,999人の処理まで可能で処理年度も何年でも可能です。(HD容量に依存)



簡単な操作性と入力の簡便さ・編集 / 出力の容易さを実現！！

< 支払調書ソフト処理手順 - - 業務の流れ >

● マスター入力～日常処理～調書作成処理

1. マスター登録

- * 事業者登録 (社名・住所等)
- * 支払先マスター登録 (支払先の先生や委員等)
- * 区分マスター登録 (講演料・原稿料等)

2. 日常処理 (公益会計上の伝票入力)

- * 区分コード入力 (2桁・摘要数字欄 1)
- * 支払先コード入力 (3桁～4桁・摘要数字欄 2)
- * * 仕訳伝票上はこの2項目の入力のみ * *

3. 謝金の伝票抽出・チェック・調書発行

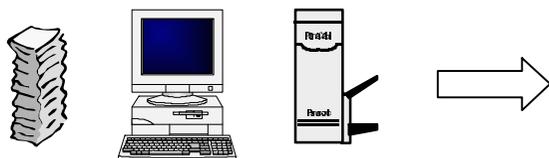
- * 仕訳伝票の読み込み～チェックリストで照合
- * 支払調書の発行 (集計～編集～印刷発行)

仕訳データ入力～調書作成処理

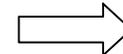
摘要欄にコード入力するだけ
仕訳帳で汎用データ出力するのみ

自動的に謝金の仕訳伝票を抽出
随時調書の自動集計・発行が可能です
(何回でも)

- * 摘要コード入力
- * 汎用データ出力



- * 仕訳データの読込
- * チェック・支払調書発行



まったく時間をかけずに
日々の仕訳伝票のみで
支払調書が発行できます

1. 日々の謝金の仕訳伝票の入力のみで自動的に支払調書が作成・発行されます。
2. 随時謝金の支払区分(率)・支払先等の変更が可能です。
3. 支払調書発行時、個人別に任意に調書の編集・訂正が可能です。

* 1年間延べ9,999人までの調書処理が可能。(年度データはHD容量により無限)